

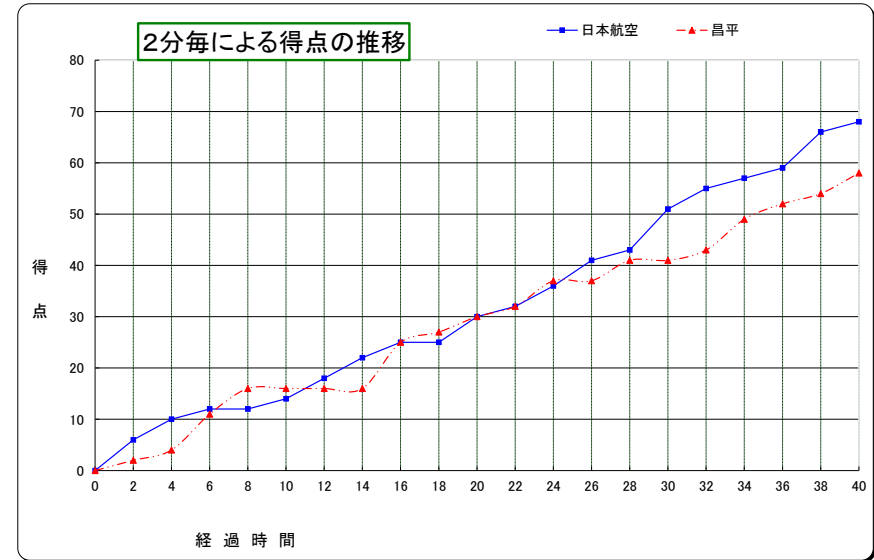
# 令和5年度 第34回関東高等学校 バスケットボール新人大会

令和6年2月4日(日)  
深谷ビッグタートル  
準決勝

チームA <b>日本航空 (山梨)</b>	<b>68</b>	<table border="1"> <tr><td>14</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>16</td><td>2nd</td><td>14</td></tr> <tr><td>21</td><td>3rd</td><td>11</td></tr> <tr><td>17</td><td>4th</td><td>17</td></tr> </table>	14	1st	16	16	2nd	14	21	3rd	11	17	4th	17	<b>58</b>	チームB <b>昌平 (埼玉)</b>
14	1st	16														
16	2nd	14														
21	3rd	11														
17	4th	17														

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
0	森田 椿彩	2			1	3					2		1		1
5	藤井 花	17	1	1	6	8	2	3	1			3	1		5
8	松久 明未	0													
11	大柴 沙和	7	1	7	2	9				2	5	2	3		9
14	野田 優菜	0													
17	末木 わか	4	0	2	1	4	2	2			5	1			3
18	原 優月	0													
20	富田 穂生	0													
28	林 姫歌	0													
31	古畑 美咲妃	0													
32	宮下 世風	0													
39	槇 さくら	3	1	2					1	1	1	1			1
42	SOETN OYBKANSOLA SHADE	35			14	21	7	10	4	10	11	1		2	2
50	那須 寧	0	0	2	0	1									
88	戸澤 美智琉	0													
コーチ	逆瀬川慶浩														
		68	3	14	24	46	11	15	6	13	24	8	5	2	21
	確率		21.4%		52.2%		73.3%								
										計	37				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
5	大野 百華	5			1	3	3	4	1	1	2				3
6	松本 早桃	6	2	3	0	1			3						
9	中村 夏鈴	0	0	2					1						
10	中村 美憂	12	2	9	3	4			4		4	2	2		2
11	佐々木 美光	16	2	5	5	11			1	2	5	3	1		2
16	江川 美羽	0													
17	戸田 ひかる	0													
23	成田 心海	15			7	14	1	2		2	2	3			5
25	千葉 日虹	0													
33	新井 早穂	0													
42	竹内 幸葉	0													
51	海老沼 好花	0													
62	原田 朱夏	4	0	3	2	4			3		1				2
70	折原 直由	0													
88	林 愛	0			0	2									
コーチ	加藤 祐介														
		58	6	22	18	39	4	6	13	5	13	9	3	0	14
	確率		27.3%		46.2%		66.7%								
										計	18				



**戦評**

第1Q 両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。ゲーム序盤、流れを掴んだのは日本航空。司令塔#11のゲームメイクを起点に#42、#5、#0が着実に得点する。対する昌平は#23の個人技で応戦する。日本航空がリードする展開の中、昌平は#11、#10の3Pで逆転する。その後は互いにディフェンスを頑張り16-14昌平リードでこのクォーターを終える。

第2Q 日本航空は#42のリバウンドシュート、#5のポストプレーなどで得点しリードする。昌平は4分間ノーゴールが続く、残り6分1回目のタイムアウト。このタイムアウトが功を奏し、スクリーンプレイから上手にオープンをつくり出し、#10、#6の3本連続3Pで一気に逆転する。日本航空も#42の3点プレイなどで食らい付き、さらに#11のプザービーター3Pで同点に追いつき前半を終える。

第3Q 後半に入っても一進一退の攻防が展開される。昌平は#62、#11、#23でバランスよく加点していく。一方の日本航空はタフショットが多くなるが、#42がオフェンスリバウンドを頑張り膠着状態が続く。残り5分、日本航空後半1回目のタイムアウト。タイムアウト明け、昌平は#10が相手#42とのスピードのミスマッチを活かしたプレイで攻めるが中々シュートが決まらない。一方の日本航空は#11と#42の縦のラインで攻撃し、じわじわとリードを広げる。51-41日本航空の10点リード。

勝負の第4Q、#42のポストプレイでリードを広げようとする日本航空に対し、昌平は2回立て続けにタイムアウトを請求する。2度目のタイムアウト後、2-2-1ゾーンプレスから2-3ゾーンを仕掛け、日本航空からリズムを奪うことに成功する。オフェンスでも5アウトからの積極果敢な1on1で#23と#11が得点を奪う。一時流れを失いかけた日本航空だったが、落ち着きを取り戻させたのはやはり#11のゲームコントロールと#42の高さであった。昌平も最後まで粘り強く戦い抜いたが、結局68-58で日本航空が勝利し決勝に進出した。ハイレベルな試合を展開した両チームの健闘を称えたい。

Ref	平原 勇次	1st U	藤本 梨紗	2nd U	安藤 俊明
-----	-------	-------	-------	-------	-------